



にちなん

議会だより

第37号

平成30年
5月1日発行



主な内容

- ◆ 第2回定期会開催報告 2ページ
- ◆ 特別委員会中間活動報告 7ページ
- ◆ 市政を問う 一般質問 9ページ

■今号の表紙■ 4月10日に行われた、細田小学校入学式のようす

計予算などを可決 予算比 0.6% 減～

◇ふるさと応援基金積立金
【1億8828万9千円】

平成29年中に、本市を応援する

一般会計補正予算（第8号）
平成29年度一般会計補正予算の
補正額は4億234万3千円で、
補正後の予算総額は273億73
34万3千円となりました。

ふるさと応援基金や財政調整基
金などへの基金積立をはじめ、バ
ス路線維持に対する補助金、さら
には中学校の環境整備事業につい
て追加計上するとともに、事業の
確定に伴う道路整備事業費などの
減額を行いました。

《補正予算の主な事業》

平成29年度関連議案

■議案第2号 平成29年度日南市

一般会計補正予算（第8号）

平成29年度一般会計補正予算の
補正額は4億234万3千円で、
補正後の予算総額は273億73
34万3千円となりました。

ふるさと応援基金や財政調整基
金などへの基金積立をはじめ、バ
ス路線維持に対する補助金、さら
には中学校の環境整備事業につい
て追加計上するとともに、事業の
確定に伴う道路整備事業費などの
減額を行いました。

（審議結果につきましては、18ペー
ジの「審議結果一覧」をご覧くだ
さい。）

30年2月26日から3月22日までの
25日間開催され、平成29年度一般
会計予算などの市長提出議案など、
あわせて62件を審議しました。

（審議結果につきましては、18ペー
ジの「審議結果一覧」をご覧くだ
さい。）

平成30年第2回定例会は、平成
30年2月26日から3月22日までの
25日間開催され、平成29年度一般
会計予算などの市長提出議案など、
あわせて62件を審議しました。

ために寄附された寄附金を基金に
積み立てるものです。

◇中学校施設整備事業

【8628万6千円】

校舎の改修工事、空調整備を実
施するものです。

- ・吾田中学校 外壁改修
- ・南郷中学校 トイレ改修
- ・東郷中学校 空調整備

平成30年度関連議案

■議案第23号 平成30年度日南市

一般会計予算

本市財政は、市税をはじめとし
た自主財源の割合が歳入全体の約
3割しかなく、地方交付税などの
依存財源に大きく頼らざるを得な
い状況が続いている、地方債残高
は年々減少してはいるものの、依
然として基金積立金残高が少ない
など、非常に脆弱な財政基盤です。

平成30年度の財政見通しについ
ては、本市の主要な財源である普
通交付税が、合併に伴う特例措置

平成30年度当初予算の一般会計
については、平成29年度肉付け後
(6月補正後)の予算比では0%
の減の253億6000万円とな
りました。

一般会計予算の歳入・歳出の内
訳の概要については、3ページを
ご覧ください。

税の交付額は年々減少すると予測
しています。

加えて、生産年齢人口をはじめ
とした人口減少の影響により、市
税等の增收が見込めない中、少子
高齢化の進行による社会保障関係
経費の増大をはじめ、老朽化する
公共施設の維持補修経費の増加な
ど、行政コストは今後も年々增加
し、厳しい財政運営となると予測
しています。

額は今後も毎年拡大し、特例措置
が終了して普通交付税が一本算定
されており、この段階的削減の影響
が平成28年度から段階的に削減さ
れており、この段階的削減の影響
となる平成33年度まで、普通交付

各事業及び議案の概要について
は、4ページ以降の委員会審査の
概要をご覧ください。

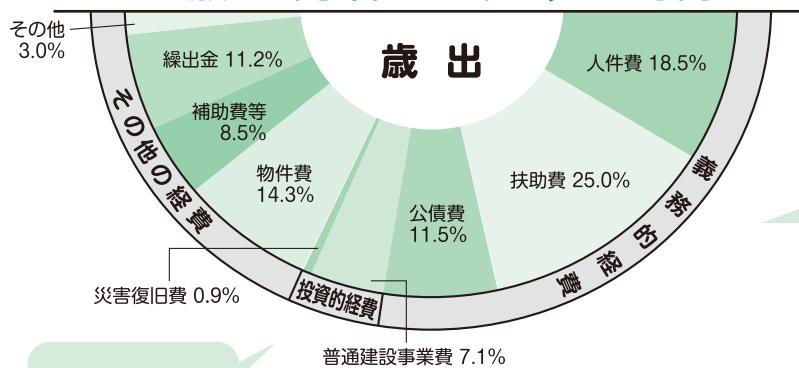
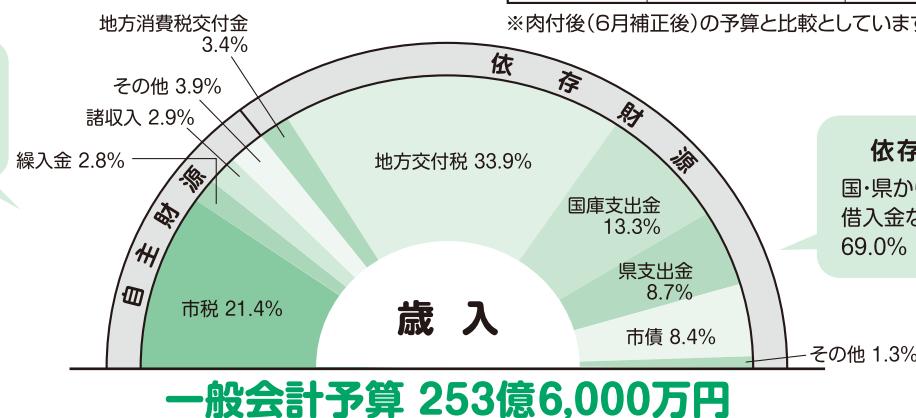
第2回定例会開催

平成30年度 一般会 ～前年度肉付け後

予算の内訳

歳入 前年度比較	予算額	対前年度 伸率	増減額
市 稅	54億2,177万9千円	2.0%	1億763万6千円
地方交付税	85億9,500万円	▲6.3%	▲5億8,000万円
市 債	21億3,670万円	29.3%	4億8,400万円

※肉付後(6月補正後)の予算と比較としています。



歳出 前年度比較	予算額	対前年度 伸率	増減額
人件費	46億9,891万円	1.7%	7,705万1千円
公債費	28億9,874万8千円	▲6.7%	▲2億897万6千円
物件費	36億3,174万7千円	2.0%	7,230万1千円
普通建設事業費	18億1,158万7千円	22.8%	3億3,590万9千円

用語解説

- 地方交付税：地方公共団体の財政の偏りを調整する目的で、国が交付するお金。
- 市債：大規模な事業を行うときなど、国や金融機関などから借り入れるお金。
- 公債費：市が、国や金融機関などから借りたお金を返す経費。
- 普通建設事業費：通路や学校などの公共公用施設の新・増築などの建設にかかる経費。
- 物件費：旅費や消耗品費、委託料など。
- 総出金：一般会計と特別会計、または、特別会計の相互間において支出される経費。

総務市民委員会の審査概要

《当初予算》

の整備にかかる経費です。

◇クリーンセンター管理費

【3億93万8千円】

日南市クリーンセンター（ごみ焼却施設）の管理運営に関する経費です。

【審査概要】

◇職員厚生一般事務費

【2億1663万5千円】

職員の健康管理等を促す経費です。

◇新庁舎建設調査検討事業

【25万2千円】

包括業務委託に係る経費について、委託料が1億5807万3千円とあるが、消費税が含まれているのか。

答 含まれている。

【要望】

◇乗合タクシー運行事業

【419万7千円】

市民の視点に立った生活交通の確保に努めるため、交通空白地帯である地域に乗合タクシーの運行を行うための経費です。

【要望】

新庁舎建設基本計画の策定については、多くの市民の意見を反映させること。

② 策定段階での検討委員会開催

についても、事前広報に努めるとともに審議を公開すること。

◇多様な性の尊重推進事業

【18万9千円】

性別にかかわりなく、個性と能力を十分に發揮することができる社会づくりを目指すため、対策委員会を設置し、講演会を開催するなど「多様な性の尊重」の推進を図るための経費です。

◇日南市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の退職手当の支給水準の引き下げに伴い、本市条例について所要の改正を行うものです。

などで構成される。

《可決された条例》

◇日南串間消費生活センター条例

消費者としての市民の利益を守り、消費生活の安定及び向上を図るために、消費生活の安全法の規定に基づき、日南串間消費生活センターの設置について条例を制定するもので

◇非常備消防一般事務費

【1億4496万1千円】

消防団員の報酬、災害補償など消防団員に対する経費です。

費です。

◇防災行政無線デジタル化整備事業

【1238万5千円】

総務省の規則改正に伴い、平成34年12月1日より適用される電波の新規格に適合する防災行政無線

◇コミュニティバス運行事業

【4238万2千円】

高齢者や児童等の通院や通学等のための交通手段を確保するため、細田、酒谷、北郷及び南郷地域に

【審査概要】

問 対策委員会の主な構成員を問う。
答 当事者をはじめ、県内市内の有識者や学識経験者やPTA関係者



委員会審査のようす

文教厚生委員会の審査概要

『当初予算』

◇健康増進事業（がん検診費）

【6502万円】

各種がん検診の実施に要する経費です。

◇予防接種事業

【1億280万9千円】

定期及び任意の予防接種を行う事業です。

【審査概要】

問 新規事業の内容はどのようなものか。

答 平成30年度より新たに、おたふく風邪の予防接種費用、一回当たり2500円を助成する。

◇認知症予防・見守り推進事業

【129万6千円】

アルツハイマー型認知症を早期発見するため、物忘れ相談プログラムの機器を購入し、長寿課窓口や各地域包括支援センターの相談業務や訪問活動で活用し、早期対応につなげるための経費です。

『可決された条例』

◇日南市国民健康保険高額療養費資金貸付基金条例を廃止する条例

基金の利用実績がなく、限度額適用認定証の交付など、代替制度があることにより、本条例を廃止するものです。

◇日南市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行いうものでです。

◇日南市長寿祝金条例の一部を改正する条例

長寿祝金の受給資格及び祝金の額を見直すことに伴い、所要の改正を行いうものでです。

◇日南市介護保険条例の一部を改正する条例

第7期介護保険事業計画の策定に伴い、平成30年度から32年度までの介護保険料について、所要の改正を行いうものでです。

◇日南市指定地域密着型介護予防の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準が改正され、介護サービスの名称や規制等が変更されたことに伴い、所要の改正を行いうものでです。

◇日南市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準が改正され、介護サービスの名称や規制等が変更されたことに伴い、所要の改正を行いうものでです。

◇日南市指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例

居宅介護支援事業者の指定に関する事務が県から移譲されることに伴い、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準について、条例を制定するものでです。

◇日南市立中部病院の管理に関する条例の一部を改正する条例

病院組織の見直しに伴い、所要の改正を行いうものでです。



委員会審査のようす

産業建設委員会の審査概要

《当初予算》

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

【審査概要】

問 何を加工する事業者で、補助率はいくらか。

答 まぐろのからすみ加工品で、補助率は地元の生産物を扱うことと雇用が生まれるということから20%である。

◇創客創入口ーカルベンチャースタート事業（地方創生）
[3978万9千円]

地方が必要とする人材の育成と確保を目的に、全国10自治体でローカルベンチャー協議会を組織し、人材育成のための共通プログラムと市独自の育成プログラムを行う事業です。

【審査概要】

問 前年度と比較して113万円減少しているが要因は何か。

答 消耗品や備品の減少である。

に係る経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇日南振徳高等学校通学路整備事業

[1億2540万円]

本路線は、県立高校統合に伴い、生徒数の増加に対し、交通事情の変化が生じたことから、地域住民や通学生の安全を図るため、道路改良と併せ歩道・自転車専用レーンの整備を行う事業です。

【審査概要】

問 進捗状況はどの程度で、完成はいつ頃を予定しているか。

答 現在、進捗率は67%である。国の補助金交付にもよるが、平成32年度までには完成予定である。

◇観光誘致宣伝事業

[195万円]

観光パンフレット等の作成、テレビ・ラジオ取材の受入れ、新聞・情報誌への広告掲載などの観光宣伝

旧消防訓練場跡地に飫肥杉住宅を建築する施主に対し、住宅見学会を条件として補助するための経費です。

【審査概要】

問 新築費用は下限があるのか。

答 1千万円以上である。

◇日南振徳高等学校通学路整備事業

[167万5千円]

向田、吉野方地区において、農家の経営安定や所得向上を図るために、水田の輪作可能な状態にできる地下排水制御システム（フォアス）の整備を県営事業として、行うものです。

◇簡易水道特別会計事業（施設建設改良費）

[1350万円]

簡易水道事業施設としての大島簡易水道の新たな水源地確保のための試験井掘削調査の委託料です。

◇飫肥杉一貫施業普及促進パイロット事業

[650万円]

伐採から植林までの一貫作業を連携して行う事業体（森林組合、伐採・造林事業者）に補助するための経費です。

◇飫肥杉マイホーム建築支援事業

[800万円]

旧消防訓練場跡地に飫肥杉住宅を建築する施主に対し、住宅見学会を条件として補助するための経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

【審査概要】

問 何を加工する事業者で、補助率はいくらか。

答 まぐろのからすみ加工品で、補助率は地元の生産物を扱うことと雇用が生まれるということから20%である。

◇創客創入口ーカルベンチャースタート事業（地方創生）
[3978万9千円]

地方が必要とする人材の育成と確保を目的に、全国10自治体でローカルベンチャー協議会を組織し、人材育成のための共通プログラムと市独自の育成プログラムを行う事業です。

【審査概要】

問 前年度と比較して113万円減少しているが要因は何か。

答 消耗品や備品の減少である。

に係る経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

【審査概要】

問 何を加工する事業者で、補助率はいくらか。

答 まぐろのからすみ加工品で、補助率は地元の生産物を扱うことと雇用が生まれるということから20%である。

◇創客創入口ーカルベンチャースタート事業（地方創生）
[3978万9千円]

地方が必要とする人材の育成と確保を目的に、全国10自治体でローカルベンチャー協議会を組織し、人材育成のための共通プログラムと市独自の育成プログラムを行う事業です。

【審査概要】

問 前年度と比較して113万円減少しているが要因は何か。

答 消耗品や備品の減少である。

に係る経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

【審査概要】

問 何を加工する事業者で、補助率はいくらか。

答 まぐろのからすみ加工品で、補助率は地元の生産物を扱うことと雇用が生まれるということから20%である。

◇創客創入口ーカルベンチャースタート事業（地方創生）
[3978万9千円]

地方が必要とする人材の育成と確保を目的に、全国10自治体でローカルベンチャー協議会を組織し、人材育成のための共通プログラムと市独自の育成プログラムを行う事業です。

【審査概要】

問 前年度と比較して113万円減少しているが要因は何か。

答 消耗品や備品の減少である。

に係る経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

【審査概要】

問 何を加工する事業者で、補助率はいくらか。

答 まぐろのからすみ加工品で、補助率は地元の生産物を扱うことと雇用が生まれるということから20%である。

◇創客創入口ーカルベンチャースタート事業（地方創生）
[3978万9千円]

地方が必要とする人材の育成と確保を目的に、全国10自治体でローカルベンチャー協議会を組織し、人材育成のための共通プログラムと市独自の育成プログラムを行う事業です。

【審査概要】

問 前年度と比較して113万円減少しているが要因は何か。

答 消耗品や備品の減少である。

に係る経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

【審査概要】

問 何を加工する事業者で、補助率はいくらか。

答 まぐろのからすみ加工品で、補助率は地元の生産物を扱うことと雇用が生まれるということから20%である。

◇創客創入口ーカルベンチャースタート事業（地方創生）
[3978万9千円]

地方が必要とする人材の育成と確保を目的に、全国10自治体でローカルベンチャー協議会を組織し、人材育成のための共通プログラムと市独自の育成プログラムを行う事業です。

【審査概要】

問 前年度と比較して113万円減少しているが要因は何か。

答 消耗品や備品の減少である。

に係る経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

【審査概要】

問 何を加工する事業者で、補助率はいくらか。

答 まぐろのからすみ加工品で、補助率は地元の生産物を扱うことと雇用が生まれるということから20%である。

◇創客創入口ーカルベンチャースタート事業（地方創生）
[3978万9千円]

地方が必要とする人材の育成と確保を目的に、全国10自治体でローカルベンチャー協議会を組織し、人材育成のための共通プログラムと市独自の育成プログラムを行う事業です。

【審査概要】

問 前年度と比較して113万円減少しているが要因は何か。

答 消耗品や備品の減少である。

に係る経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

【審査概要】

問 何を加工する事業者で、補助率はいくらか。

答 まぐろのからすみ加工品で、補助率は地元の生産物を扱うことと雇用が生まれるということから20%である。

◇創客創入口ーカルベンチャースタート事業（地方創生）
[3978万9千円]

地方が必要とする人材の育成と確保を目的に、全国10自治体でローカルベンチャー協議会を組織し、人材育成のための共通プログラムと市独自の育成プログラムを行う事業です。

【審査概要】

問 前年度と比較して113万円減少しているが要因は何か。

答 消耗品や備品の減少である。

に係る経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

【審査概要】

問 何を加工する事業者で、補助率はいくらか。

答 まぐろのからすみ加工品で、補助率は地元の生産物を扱うことと雇用が生まれるということから20%である。

◇創客創入口ーカルベンチャースタート事業（地方創生）
[3978万9千円]

地方が必要とする人材の育成と確保を目的に、全国10自治体でローカルベンチャー協議会を組織し、人材育成のための共通プログラムと市独自の育成プログラムを行う事業です。

【審査概要】

問 前年度と比較して113万円減少しているが要因は何か。

答 消耗品や備品の減少である。

に係る経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

【審査概要】

問 何を加工する事業者で、補助率はいくらか。

答 まぐろのからすみ加工品で、補助率は地元の生産物を扱うことと雇用が生まれるということから20%である。

◇創客創入口ーカルベンチャースタート事業（地方創生）
[3978万9千円]

地方が必要とする人材の育成と確保を目的に、全国10自治体でローカルベンチャー協議会を組織し、人材育成のための共通プログラムと市独自の育成プログラムを行う事業です。

【審査概要】

問 前年度と比較して113万円減少しているが要因は何か。

答 消耗品や備品の減少である。

に係る経費です。

【審査概要】

問 観光パンフレットについてはどうぞくらいくらい作成するのか。

答 総合版1万部、概要版5千部である。

内訳は構造見学会（必須）と完成象者にターゲットを絞り、他市が実施していない独自の支援をすることにより、これまで他市に流れていた新規就農者の確保を図るために経費です。

◇未来へつなぐ！農業後継者等育成支援事業

[241万9千円]

◇農林水産物加工施設整備事業
農水産物の付加価値向上に取り組む事業者に対し、加工施設や設備を整備する費用の一部に対する補助事業です。

議会改革推進特別委員会

本委員会は、市議会の活性化を図るとともに、市民の負託に応える開かれた議会形成に向けた議会改革を推進することを目的として設置され、平成29年度は11回の委員会を開催し、議論を深めました。

まず、「将来を見据えた議会組織のあり方」については、全国的に議員のなり手不足が社会問題となり、また、人口減少とともに財政状況が厳しくなる中において、議会は何を成すべきかを積極的に検討する必要があります。

行財政改革を進める一方で、議員を志す人をひとりでも多くすることが、地方自治の土台を強固とするために必要なことです。

その中で、「広く市民の声を聴き、円滑な議会運営を保つために議会組織や議員定数はどうあるべきか」、「政治を志したい若年層を受け入れるために待遇はどうあるべきか」などの課題解決は、議会内部のみならず、市当局や市民の皆様のご理解が必要不可欠であり、一朝一夕で成し得るものではないことから、引き続き議論や調査・研究についても、島根県出雲市並びに鳥取県境港管理組合を訪問しました。



タブレット研修会のようす

査を深めていく必要がありますが、平成31年4月に改選を控えていることから、本年6月定例会までに一定の方向性は示さなければならぬと考えます。

次に、平成29年3月から導入しているタブレットの活用は、議員によって習熟度に差はあるものの、全ての議員が情報伝達や委員会審査時の資料検索に活用しており、議会及び議員活動の向上に寄与しているものと思われます。

限られた財政の中でいかに市民ニーズを政策に反映させるか、今後も市民の負託に応える開かれた議会形成をテーマとして、更なる議会改革に取り組んで参ります。

本委員会の設置目的である、インフラ整備に対する要望活動については、『東九州自動車道の早期整備』、『「命の道」国道220号防災対策の早期整備及び同国道の直轄管理の継続』、『重要港湾油津港の整備』の3項目について、県をはじめ宮崎河川国道事務所、宮崎港湾・空港整備事務所、九州地方整備局、国土交通省、県選出国會議員に対して、8月と11月の2回それぞれ要望書を提出し、本市における各インフラ事業の必要性や事業効果を訴え、早期完成や整備促進等をお願いしました。

次年度以降も市当局や関係機関と連携し本市の活性化、地域振興のために今まで以上に努力して参ります。

また先進的な取組に対する調査・研究については、島根県出雲市並びに鳥取県境港管理組合を訪問しました。

総合交通・産業活性化対策特別委員会

本委員会は、東九州自動車道や油津港をはじめとする総合交通網の整備促進及びこれらのインフラを活用した産業振興・雇用創出に関する諸問題に対処するために設置されました。

本委員会の設置目的である、インフラ整備に対する要望活動については、『東九州自動車道の早期整備』、『「命の道」国道220号防災対策の早期整備及び同国道の直轄管理の継続』、『重要港湾油津港の整備』の3項目について、県をはじめ宮崎河川国道事務所、宮崎港湾・空港整備事務所、九州地方整備局、国土交通省、県選出国會議員に対して、8月と11月の2回それぞれ要望書を提出し、本市における各インフラ事業の必要性や事業効果を訴え、早期完成や整備促進等をお願いしました。

出雲市においては、本市の鵜戸市並びに鳥取県境港管理組合を訪問しました。



国土交通省道路局次長への要望活動のようす

広報広聴特別委員会

本委員会は、今年度は11回の委員会を開催し、主に議会だよりの編集・発行や議会報告会の開催について協議しました。

議会だよりについては日南市議会報発行規程に基づき8月1日発行の第34号から3回にわたり編集・発行しました。分かりやすく親しみやすい議会だよりを目指して、今年度は記事にタイトルを掲載するなど一部紙面構成の見直しを実施しました。今後も特集記事の企画や掲載写真の工夫など更なる紙面の充実を図り、議会の活動状況を広く市民の皆様に発信できる議会だよりとなるよう調査・研究を重ねて参ります。

議会報告会については、11月に

3地区3会場において「市民と語る日南市議会」を開催しました。今回も、各地区的自治会長会に向いて開催案内を行うとともに、パワー・ポイントを活用した議会活動報告や、新庁舎建設についてをテーマに設けた意見交換を実施しました。開催を通じ、パワーポイントを使つた説明やテーマ設定

者実績やアンケート結果を受け、様々な観点から見直しを行い、平成30年度は議会報告会に加えて、市内の団体等から要請があれば、議員が意向で意見交換を行なう参加募集型の「議員と意見交換会」も試行的に実施することになりました。



11月に開催した議会報告会のようす

この意見交換会や議会報告会は、参加していただいた皆様からの意見・要望を把握し、真に必要な施策を市当局へ提案していくための大変貴重な広聴活動であると考えます。多くの皆様に参加していただけるよう、引き続き更なる改善や見直しに努めて参ります。

建設予定の庁舎面積・建設費用・工期、後年度の財政見込みや残りの庁舎の使用見込みなど、質疑や議論を重ねながら人口規模や人口動態・産業構造をはじめ、類似団体指標などを参考に建物の構造や市民サービスの状況、建設費用や計画から完成までの経過などについて視察も実施しました。

また、自然災害などの緊急時に大規模な会議等が開催可能な議場や、議場内の机や椅子のレイアウト変更が可能な可動式議場、傍聴席から議員や当局の顔などが見渡せる対面式議場などについても視察検証を行いました。

こうした中、昨年末に市当局へ議長と委員長の連名で「本市の財政事情や将来の人口減少を予測し、多くの皆様に参加していただけました。開催を通じ、パワーポイントを使つた説明やテーマ設定

はおおむね好感触でしたが、参加して、様々な観点から見直しを行い、平成30年度は議会報告会に加えて、市内の団体等から要請があれば、議員が意向で意見交換を行なう参加募集型の「議員と意見交換会」も試行的に実施することになりました。

本委員会は、市当局の庁舎仮移転や基本構想（案）策定などを受け議会の立場から調査・研究し、市当局へ提言するために設置されました。

新庁舎建設検討特別委員会



東日本大震災後に建て直された福島県須賀川市の新庁舎窓口のようす

る。議場等の設置箇所は市当局の判断に任せるが、議会の委員会室の併用や設備品の簡素化などコスト削減に努められた」と中間提言を行いました。

また今年3月には、自治会連合会から「様々な意見等を反映し、議論を重ね市民目線での新庁舎建設の必要性と、自治会事務局及び各種団体等が活用できる会議室を併用した執務室の確保を検討いただきたい」と議長宛に要望書が提出されました。

こうした意見や要望を十分に踏まえ、協議・検証を重ね、平成30年度の早い時期に最終提言が行えるよう取り組んで参ります。

市政を 問う!

一般質問

平成30年第2回定例会における「市政に対する一般質問」は、3月9日、12日、13日の3日間行われ、13人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をただしました。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※ 質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会事務局にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。
また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。
詳しくは、日南市議会事務局（電話：0987-31-1142）までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

- | | |
|------------|--|
| ① 小玉 弘明 議員 | [市税等の収納不明金について、介護保険事業計画について、観光振興について、水路の管理について、日南・北郷エリアの体育施設の指定管理について] |
| ② 濱中 武紀 議員 | [行財政改革等の取組等について] |
| ③ 田中 重信 議員 | [不正防止について、新庁舎建設について、財政健全化対策について] |
| ④ 山田 一 議員 | [スポーツ振興について、教育行政について、農林水産振興について、商工政策について] |
| ⑤ 福岡 浩一 議員 | [市長の政治姿勢について、木材利用推進について、国民体育大会について、市営住宅について、企業振興について] |
| ⑥ 川越 昇 議員 | [高速道路によるまちづくりについて、観光振興について、定員適正化計画について、本庁及び総合支所について] |
| ⑦ 河野 通博 議員 | [市長の政治姿勢について、地域振興について、財政について] |
| ⑧ 北川浩一郎 議員 | [公共施設について、働き方改革について、観光行政について] |
| ⑨ 黒部 俊泰 議員 | [防災について、地域包括ケアシステムの構築について、子育て支援について、教育行政について] |
| ⑩ 井福 秀子 議員 | [ごみ・リサイクル収集について、健康長寿について、就学援助入学前支給について、多様な性を認める社会について、住宅街の道路整備について] |
| ⑪ 和足 恭輔 議員 | [生活保障（生活保護）について、コミュニティバス・予約制デマンドタクシー運行事業について、行政改革について、働く場創出戦略について] |
| ⑫ 川口 和也 議員 | [字図を写した航空写真の有料交付について、地方公務員法改正の施行・同一労働同一賃金と包括民間委託について、市福祉事業における社会福祉協議会の位置付けと評価・委託料算定について、会派政務調査を通じて施策への提言、小規模水道実施地域の人口減少と将来について、教育施策について] |
| ⑬ 林 一彦 議員 | [地域間格差について、L G B Tなど性的少数者のカップルの公的認定等について、今後の本市の農業施策について、地域公共交通の現状と課題について] |

紙面から動画にリンク!

一般質問をスマートフォン・タブレットで視聴

今月発行の議会だよりから、一般質問ページにおいて各議員ごとの録画映像をご覧いただけます。

スマートフォンなどをお持ちの方は、顔写真下の二次元バーコードを専用アプリで読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。

是非、ご利用ください！



日南市民が「安心・安全」に 過ごせるまちづくり



無会派
小玉 弘明

市税等の収納不明金について

問 公表された8名分の収納不明金の調査の進捗状況を問う。

答 対象者への聞き取りやシステムの操作記録、現金の集計確認、領収書の確認など、事実資料を収集した。総合的な分析を行い、特定でき次第、市民に公表する。

問 調査の完了してない件数を問う。

答 市税等が滞納状態にある方が12月時点での4700名であつたが調査は終了している。

問 全容解明時期と再発防止策を問う。

答 疑義が見られる案件があり、不明白な時期を示すのは難しい。不明金発生後は、現金の取り扱いや訪問時の徴収方法など問題点を整理し考えられる改善策は講じた。全府的な問題なので民間金融機関や公認会計士など専門家を含め再発防止対策委員会の設置も検討する。

観光振興について

問 クルーズ船による経済効果を問う。

答 平成29年度、油津港への寄港は、外国船・国内船の合計が26回であり、乗船客と乗組員で約10万人が訪れた。宮崎県南部の圏域で約10億円と考えられる。平成28年11月から

29年1月までに3回行つたアンケート調査では、乗客一人当たりの消費額は約3万3000円だった。

中国系の乗船客の約76%が飫肥城下町、油津商店街及び港で買物をし、食料品42%、化粧品25%、薬19%の順であった。

問 今後の(22万トン)受入体制を問う。

答 22万トン級のクルーズ船は6千人以上の乗船客と150台のツアーバスが想定されるため、各種シミュレーションを行い受入体制を整える。

水路の管理について

問 水路の修繕・修理等の補助事業

答 農業用以外の法定外公共物は原材料及び機械借上料に係る「地域環境整備支援事業」で、30万円を限度に費用を助成する。

日南・北郷エリアの指定管理について

問 平成29年度から体育施設を指定管理に移行してからの状況を問う。

答 毎月定例会議を開催し、情報共有が確立され、特に問題はない。